

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 頸椎後方除圧術における術前後屈位レントゲンでの後弯リスク評価の有用性

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 三田村昇吾（整形外科・医師）

[研究の概要]

■ 目的・方法

研究期間：2025年8月7日～2025年9月30日

目的：頸椎椎弓形成術後に後弯変形となることがしばしばある。術前アライメント（術前後のレントゲンによる骨や関節の位置変化）に着目しリスク因子を検討する。

方法：カルテからの情報収集をもとに実施する後方視的な観察研究

■ 対象となる患者さん

2016年1月から2024年12月に当院で頸椎椎弓形成術を受けた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：

① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報（術前術後パラメータ：術前レントゲンでのC2-7angle, extension/flexion angle, ROM, cSVA, C7 slope, C7 slope-CL, 術後レントゲンでのC2-7 angle, extension/flexion angle）

② 治療（頸椎椎弓形成術）

③ 治療反応性・予後 等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

三田村昇吾、整形外科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971